

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2014年9月9日）

■第1版 第2刷（2014年5月15日発行）の修正箇所

※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodosha.co.jp/correction/9784758117500_corrections.pdf をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
1章					
81	文献99	↑マグネシウムは 前子癇 を半分以上減少させる	↑マグネシウムは 子癇前症 を半分以上減少させる		14/09/02
94	上から17行目	GPR:心肺蘇生 CRP:C反応性蛋白 またははClinical Prediction Rule	GPR:心肺蘇生 またははClinical Prediction Rule CRP:C反応性蛋白		14/09/02
2章					
106	見出し3)の1行目	hyper d inamic	hyper d ynamic		14/09/09
144	文献70	↑7つの文献のメタ解析. 全下肢エコーをもってしても遠位(下腿)の血栓は見逃す. 全下肢エコーで正常で あっても 3カ月のフォローアップで0.7%が 静脈血栓塞栓症 になった. 少ない . やっぱり全下肢エコーは優秀?	↑7つの文献のメタ解析. 全下肢エコーをもってしても遠位(下腿)の血栓は見逃す. 全下肢エコーで正常で あれば , 3カ月のフォローアップで たったの 0.7%が 肺血栓塞栓症 になった だけ . やっぱり全下肢エコーは優秀?		14/09/09
3章					
161	4行目	(sagittal reformation)	(sag i ttal reformation)		14/09/09
200		※1 赤矢印参照	※1 赤矢印参照	文章の位置のズレを修正	14/09/09

図表

※1

修正前

修正後

□FACT (Focused Assessment with CT for Trauma) : 最初の3分で読影. CT室のコンソールでマウスをグリグリして探すべし

①頭部CT	緊急減圧開頭術の必要性
②大動脈 (肺動脈レベル)	大動脈損傷, 縦隔血腫
③肺底部 Windowを変更 (肺野条件)	広範肺挫傷, 血気胸, 心嚢血腫
④骨盤腔: 一気に下に! Windowを戻す	骨盤腔内で腹腔内出血をチェック
⑤骨盤→脊椎: 下から上に! Windowを変更 (骨条件)	骨盤骨折, 後腹膜出血
⑥臓器損傷: 上から下に! Windowを戻す	実質臓器損傷 (肝臓, 脾臓, 腎臓, 膵臓), 腸間膜血腫

□FACT (Focused Assessment with CT for Trauma) : 最初の3分で読影. CT室のコンソールでマウスをグリグリして探すべし

①頭部CT	緊急減圧開頭術の必要性
②大動脈 (肺動脈レベル)	大動脈損傷, 縦隔血腫
③肺底部 Windowを変更 (肺野条件)	広範肺挫傷, 血気胸, 心嚢血腫
④骨盤腔: 一気に下に! Windowを戻す	骨盤腔内で腹腔内出血をチェック
⑤骨盤→脊椎: 下から上に! Windowを変更 (骨条件)	骨盤骨折, 後腹膜出血
⑥臓器損傷: 上から下に! Windowを戻す	実質臓器損傷 (肝臓, 脾臓, 腎臓, 膵臓), 腸間膜血腫